# 報告とお礼

# 老朽原発うごかすな! とめよう! 原発依存社会への暴走 9.1 関電前「一食(いちじき)断食」行動に 200 人超が参加

## 「原発依存社会」に向かって暴走する岸田政権

岸田政権は、詭弁を弄して、人々を愚弄し、欺くペテン 師政権です。

原発関係でも、1 昨年 10 月に決定した「エネルギー基本計画」では「可能な限り原発依存度を低減させる」としながら、舌の根も乾かない昨年 8 月にこれをひるがえし、今年 5 月、通常国会で、数を頼んで原発関連法を改悪しました。既存原発の 60 年超え運転への道、原発推進の道を開いたのです。また、8 月 24 日には、放射能汚染水の海洋放出を開始しました。それまでの「関係者の理解なしに処分しない」とする約束を反故にし、福島県漁連、全国漁連をはじめ、世界の人々の反対の声を踏みにじった暴挙です。

岸田政権にとって「民主主義」とは、「民意を無視し、 人の命と尊厳を蹂躙する」ことです。その政権が、今や斜 陽産業になりつつある「原子カムラ」の救済のために「原 発依存社会」に向かって暴走しているのです。

### 老朽原発再稼働に暴走する関電

岸田政権のお先棒を担ぐ関電は、運転開始後 46 年を超えた老朽原発・美浜 3 号機を一昨年来稼働させ、7 月 28 日には 48 年超えで最古の原発・高浜 1 号機を再稼働させました。また、47 年超えの高浜 2 号機の再稼働を 9 月 15 日に画策しています。

## 使用済み核燃料の行き場はない

老朽原発再稼働を進める関電は、トラブル、不祥事、約束違反を頻発させる企業です。去る6月にも、「使用済み核燃料の中間貯蔵地を本年末までに福井県外に探す。探せなければ老朽原発を停止する」とした約束を果たせる見通しが無くなり、切羽詰まって「使用済みMOX燃料の一部を、フランスに搬出するから約束は果たした」としています。しかし、搬出量は、若狭の原発で保管する使用済み核燃料のわずか5%に過ぎません。詭弁を弄して、老朽原発の運転を進めようとしているのです

さらに、関電は中国電力と結託し、8月2日、唐突に、中間貯蔵地建設のための調査を上関町に申し入れました。原発建設に反対し、美しい、希少な生態系を守る闘いを進める住民の心情を逆なでにするものです。関電の原発電気を作ったことも、使ったこともない上関や青森に使用済み核燃料を押し付けることは、人間の所業ではありません。

岸田政権や関電がいかに願望しようとも、いかに法律を変えようとも、政治的な判断や原子カムラの都合で、科学・技術が急に進歩することはありません。原発の安全性や使用済み核燃料の処理処分技術が急に向上することはありません。現在科学技術で制御できない原発の全廃を求めましょう!

### 「一食断食」行動で、岸田政権と関電を糾弾

岸田政権や関電の暴走を止めるためには、目に見え、耳に聞こえる市民運動の爆発が不可欠です。

「老朽原発うごかすな!実行委員会」は、「原発依存社会への暴走を許すな!」「老朽原発うごかすな!」行動の一環として、「一食(いちじき)断食」行動を行っています。この行動は、一食を我慢して、少しひもじい思いをしながら、原発利用の理不尽、福島原発事故の悲惨さ、原発事故被災者の苦難、子々孫々に負の遺産・使用済み核燃料を残すことの罪深さ、などなどに思いをいたし、「原発依存社会への暴走」に抗議する、いつでも、どこでも、だれでも、ひとりでもできる行動です。

なお、「一食断食」して節約した浄財での「老朽原発うごかすな!」行動のご支援をお願いしています。(カンパの振先は、郵便為替口座記号・番号;00990-4-334563、加入者名;「老朽原発うごかすな!実行委員会」にお願いします。)

## 9月1日、関電前で「一斉一食断食行動」(報告)

今年の9月1日は、関東大震災の悲劇から100年目でした。「天災は忘れたころにやってくる」と言います。明日にも、原発立地を大震災が襲う可能性があります。一方、「人災は騙されたときにやってくる」は井戸謙一弁護士の名言です。今、政府や電力会社は、人々を騙して「原発依存社会」へ暴走しています。原発は人が動かしているのですから過酷事故は人災です。老朽原発の運転は、過酷事故を招きかねません。一刻も早い原発全廃を実現しなければなりません。

このような視点から呼びかけられた 9.1 関電前「一斉一食断食」行動には、200 人超が参加され、朝 10 時から午後 4 時まで、昼食を抜いて「セミハンスト」行動を行いました。大阪の吹田、新潟の柏崎刈羽、名古屋などの、反原発を闘うみなさんが、各地で連帯行動を実施してくださいました。

突入集会、昼休集会、集約集会と各 30 分の、3 回のミニ 集会では、主催者挨拶、「一食断食」を提唱された中嶌哲 演さんのアピールに続いて、各方面から多彩なアピールを いただきました。前日のそごう・西部労働組合のストライ キ決行に共感の発言も交えて、労組からの挨拶も、闘いへ の希望と決意を感じるものでした。集会と集会の間には、 参加者のアピール、原発に関する質疑応答、歌を歌った り、詩を読んだりと、途切れることなく、6 時間はあっと いう間に経過しました。その間、関電に向けて、6 回の怒 りのシュプレヒコールをたたきつけました。

ネットを見て駆けつけたという若者もアピールしました。「一食抜いて、座り込んでいるあなた達は、ヒーローだ。」と、気恥ずかしくなるような言葉をくれました。

2 時間を割いた質疑応答では、今一番の関心事、放射能 汚染水の海洋投棄に関するものが集中しました。質問に は、敦賀の山本さんや筆者(木原)が答えましたが、「よ い学びの場」となったと好評でした。

暑さが心配でしたが、木陰には涼風もあり、また、民医連からは介護士のご助力もあり、無事に6時間の「一食断食」行動を終えました。終日の金曜なので、関電社員にも声が届いたでしょう。彼らは何を考えたでしょう?

9.1 関電前行動には、全国で反原発。反核燃サイクルを 闘う 22 の団体からのメッセージを頂き、冊子として配布 しました(冊子を入手ご希望の方は、ご一報ください)。 また、集会宣言を発しました(裏面参照)。

# 9.1 関電前行動にご参加のみなさん、ご支援いただきました皆さん、ありがとうございました。

2023年9月5日

「老朽原発うごかすな!実行委員会」 (連絡先;木原壯林:090-1965-7102)

















### 9.1 関電前「一食断食」行動 集会宣言

今日、9月1日は、関東大震災の悲劇から100年目です。「天災は忘れたころにやってくる」と言います。明日にも、原発立地を大震災が襲う可能性があります。一方、「人災は騙されたときにやってくる」は井戸謙一弁護士の名言です。今、政府や電力会社は、人々を騙して「原発依存社会」へ暴走しています。

本日、関電前に結集した私たちは、一食を我慢して、少しひもじい思いをしながら、原発利用の理不尽、福島原発事故の悲惨さ、原発事故被災者の苦難、子々孫々に負の遺産・使用済み核燃料、核廃棄物を残すことの罪深さ、朝鮮人大虐殺を起こした 100 年前の政治と現在政治の類似性、などなどに思いをいたし、岸田政権による「原発依存社会への暴走」「放射能汚染水の海洋放出強行」、関電による

「老朽原発再稼働」「使用済み核燃料に関わる詭弁と欺瞞」に抗議しました、また、苦悩のなかにも熱い闘いを続ける全国の原発立地や核施設立地から寄せられたメッセージに耳を傾け、「原発はあってはならない!即時全廃!」「原発依存社会に向かって暴走する政府や電力会社は不要!」の決意を新たにしました。

ところで、関電は、原発トラブル、贈収賄、カルテルの締結、個人情報の閲覧、様々な法令違反などの不祥事を頻発させ、約束違反を繰り返しています。こんな関電に原発をうごかす資格はありません。

関電はいま、使用済み核燃料の中間貯蔵地探しで窮地に立っています。「本年末までに、中間貯蔵地が福井県外に見つからなければ、老朽原発を停止する」とした期限が目前です。老朽原発を廃炉にできるかどうかの正念場です。関電は「使用済み燃料の一部(わずか 5%)を、フランスに搬出するから約束は果たした」としています。詭弁です。一方、中国電力と結託して、唐突に、山口県上関町に中間貯蔵候補地としての調査を申し入れました。しかし、この場所は、希少な生態系を守るために、長年にわたって原発建設反対を闘い、工事を阻止してきたところです。今回の申し入れは、住民の間の分断をさらに助長するものです。関電の地元・関西、若狭と上関の連帯によって、全国に闘いの炎を燃え上がらせましょう!

岸田政権は、原発の60年超え運転まで可能としました。時代遅れで斜陽産業となっている「原発ムラ」に税金をばらまこうとしています。総事業費14兆5千億円の六ヶ所村の核燃料再処理工場は操業開始の延期を繰り返しています。60年以上も莫大な予算を投下し続けたにも拘わらず、実用の兆しも見えない、高速炉、高温ガス炉、核融合炉にさらに膨大な予算を投下しようとしています。

しかし、岸田首相や関電がどう願望し、法律をどう変えようとも、経済的利益や政治的思惑で原発の老朽化を防ぐ技術、安全性を高める技術、使用済み核燃料の処理・処分技術が急に向上することはありません。荒唐無稽な原子力にばらまく税金と人員は、風力、太陽光、地熱、水力などの再生可能エネルギーと蓄電技術の開発に回すべきです。

コロナ禍で多くの市民運動が後退を余儀なくされるなか、

私たちは、猛暑、豪雨、雪にもめげず、政府、関電、原発推進自治体に抗議の声を上げ続け、若狭一円でのチラシ配布を繰り返しました。関電本店、高浜原発、大飯原発、美浜原発の前で、たび重ねて再稼働反対の声を上げ、福井県議会、原発立地自治体議会への傍聴、申し入れ行動に起ちました。関西一円の自治体への要請行動も行いました。関西と若狭を結んだリレーデモも行ないました。

その私たちには、コロナ禍による制約が緩和されたいま、 岸田政権や関電を追い詰めるための運動の、質・量両面か らの拡大が問われています。

ドイツ、イタリア、台湾は脱原発を実現しました。原発全廃をたたかう全国、全世界の人々と連帯し、原発推進勢力への反転攻勢に踏み出しましょう。

- ・9月15日に画策されている老朽原発・高浜2号機の再稼働を許さず、老朽原発即時廃炉を実現しましょう!
- ・10月22日「使用済み核燃料の行き場はないぞ! 全国 集会」に結集し、使用済み核燃料の発生源・原発の全廃を 求めましょう!
- ・12月3日「とめよう! 原発依存社会への暴走 1万人集会」を全員の努力で成功させましょう!

以上、宣言します。

2023年9月1日

『老朽原発うごかすな! 止めよう!原発依存社会への暴走 関電前 「一食断食」行動』 参加者一同

# 「原発推進法」が成立しても、実行させない、 老朽原発の運転を認めない闘いの前進を!

「老朽原発うごかすな!実行委員会」は、以下の行動を呼 びかけています。皆様のご支援、ご参加をお願いします。

# 【1】「高浜原発2号機うごかすな!」現地緊急行動

関電は、最老朽の原発・高浜1号機を、7月28日に再稼働させ、9月中旬に高浜2号機の再稼働を画策しています。許してはなりません。2号機再稼働の当日(9月15日)には、高浜現地で、緊急抗議行動に起ちます。

# 【2】10.22「使用済み核燃料の行き場はない ぞ!」 全国集会

関電は「使用済み核燃料の中間貯蔵地を、本年中に福井県外に探す」とした約束を、わずか5%の使用済み核燃料をフランスに搬出すること、上関で中国電力とともに中間貯蔵地建設のための調査を行うことを口実に、反故にしようとしています。関電は、空約束と詭弁によって人々を騙す、倫理のかけらも持たない企業です。何としても約束を履行させる大行動を繰り広げましょう!(乞下記参照)

# 【3】12.3「とめよう!原発依存社会への暴走 1万人集会 -うごかすな老朽原発-」(大阪市内)

原発推進関連法は、先の通常国会で成立しましたが、実行するには、関連の法体系の整備が必要です。また、法をどのように解釈・運用するかは反原発の行動との攻防によって決まります。

起死回生の大闘争によって、「原発推進関連法」を空洞化し、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を 実現しましょう!

### 使用済み核燃料の発生源・原発を稼働させるな!

原発を運転すると、核燃料の中に運転に不都合な核分裂生成物が生成します。そのため、原発を一定期間運転すると新燃料と交換せざるを得なくなり、使用済み核燃料が発生します。

発生直後の使用済み核燃料は、膨大な放射線と熱を発しますから、燃料プールに水冷保管して、放射線と熱の減少を待ち、 その後、キャスクに入れて中間貯蔵に回します。

使用済み核燃料を保管するプールは「むき出しの原子炉」と も呼ばれ、極めて脆弱です。新しい使用済み核燃料の入った燃料プールが崩壊すれば、大惨事に至る可能性があります。

それでも、関電や政府は、放射線と熱の発生が減少した**使用 済み燃料を、中間貯蔵地に移送することによって、プールに空 きを作り、新たな使用済み燃料を貯蔵しようとしています。** 

先ずは、使用済み核燃料を増やす原発を全廃し、 使用済み核燃料の処理・処分に関する広範な議論を 巻き起こしましょう!